

●2019年7月の出来事

【001】 4日から、韓国に対し【 A 】【 B 】【 C 】の3品目が輸出規制対象とされた。
これまでは3品目を韓国に輸出する企業は一度政府に申請すれば、原則3年間は個別の輸出ごとの申請が不要だったが、4日からは外為法に基づき、個別の出荷ごとの申請が必要になった。審査期間は【 D 】日程度。禁輸ではない。
また、8月には外為法の優遇制度で27カ国が指定されている「【 E 】」から韓国を除外する方針である。
※「規制」と記載して報道しているメディアが多いが、正確には「輸出管理」兵器転用可能な化学物質の使用が不明確な韓国側を、優遇措置から除外したのである。

【002】 6日、【 A 】天皇陵含む【 B 】の世界文化遺産へ登録が決定した。

●()内のどちらか正しい方を選びなさい。

- 【003】 ①21日に行われた参議院議員通常選挙の結果、与党である自民・公明両党で改選定数の過半数を(超える議席を獲得した / 超えることはできなかった)。
- ②自民党は党単独で参議院の過半数を(維持した / 維持できなかった)。
- ③憲法改正に前向きな改憲勢力とは、自民党、公明党と(国民民主党 / 立憲民主党 / 日本維新の会 / れいわ新選組)の3党である。
- ④改憲勢力で、憲法改正に必要な3分の2議席を獲得(した / できなかった)。
- ⑤1人区32選挙区のうち、与党は (22勝10敗 / 20勝12敗 / 18勝14敗) 。
- ⑥今回、あらかじめ政党の決めた順位に従って当選者が決まる (特別枠 / 特定枠 / 順位枠) が導入された。
- ⑦今回の選挙で、参議院の定数は(6増加の248 / 3増加の245)となった。
- ⑧投票率は24年ぶりに(60%を下回る54.70% / 50%を下回る48.79%)で、過去2番目に低かった。
- ⑨「**政治分野の男女共同参画推進法**」が2018年5月に成立してから、国政選挙で初めて適用され、選挙区と比例代表で計104人の女性が立候補し、候補者に占める女性の割合は(28.1% / 33.2% / 50.2%)となった。

【004】 イギリスの与党・保守党は23日、党首選で【 A 】前外相が勝利したと発表した。元ロンドン市長でもある【 A 】は24日、正式にイギリスの首相となった。

●解答

【001】

- A：フッ化ポリイミド
- B：レジスト
- C：エッチングガス(高純度フッ化水素)
- D：90
- E：ホワイト国

【002】

- A：仁徳
- B：百舌鳥・古市古墳群

【003】

- ①超える議席を獲得した
改選定数124の過半数63を超える計71議席を獲得した
ただ、改選議席77から**6減らした**結果となった。
- ②維持できなかった
選挙区で38、比例で19、合わせて57議席を獲得したが、改選66議席に届かなかった。
- ③日本維新の会
選挙区と比例で5ずつ、合わせて10議席を獲得し、改選7を大きく上回った。
特に、大阪を中心とした近畿圏での強さが目立った。
- ④できなかった
与党と憲法改正に前向きな日本維新の会を合わせた「改憲勢力」は**81議席**にとどまり、
非改選を含めた参院全体で改憲発議のための3分の2の維持に必要な**85議席**を割り込んだ。
- ⑤22勝10敗
全体的に東北方面と沖縄での敗北が目立った。
- ⑥**特定枠**
本来は非拘束名簿式だが、拘束名簿式の要素も取り入れられた。
- ⑦3増加の245
2022年の選挙でさらに3増加の248議席になる。
- ⑧50%を下回る48.79%
- ⑨28.15
過去最高であるが、30%を超えていないということ。

【004】

- A：ボリス・ジョンソン